

教育理念・方針	基本的な生活習慣の育成を通して、人格陶冶をはかり、地域社会に貢献できる人材を養成する。
---------	---

教育目標	幼児にふさわしい環境の中で健康で心豊かな子どもを育てる。
保育の特色	幼稚園での生活を通しての学び、健康な体づくり。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の中での体験を通して豊かな感性を育てる。 ・ 異年齢とのかかわりを通して遊びの体験を深める。 ・ 身近な地域の人々との交流を通して信頼関係を育む。

め ざ す 子 ど も 像

- ・ 健康で明るく、あいさつのできる子ども
- ・ 自分で考えて行動する子ども
- ・ 友だちを大切にして協力し合う子ども
- ・ 生命を大切にする子ども

重 点 目 標

— あいさつから始まる、共に育ち合う仲間づくり —

		2歳	年少	年中	年長
内容	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して園生活を送る。 ・ 教師や友だちと一緒に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園生活に慣れ、身の回りのことをしようとする。 ・ 教師や友だちとかかわり好きな遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなことに興味を持ちやってみようとする。 ・ 身近な人とかかわり遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で考えたり、友だちと力を出し合ったりして、いろいろなことに挑戦しようとする。 ・ さまざまなかかわりの中で、思いやりや、いたわりの心を持つ。
	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園生活に慣れ安心して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りのことを行い、喜んで生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園生活を楽しみのびのびと生活をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活に必要なことが身につき元気に過ごす。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人と触れ合い遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちと一緒に過ごす楽しさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親しみを持って身近な人とかかわる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的を持って互いに協力し合う。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な環境の中で楽しく遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然や環境に興味を持って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然や環境に関心を持ち遊びに取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な事象に興味や関心を持ち考えたり工夫したりして遊ぶ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いを態度や言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いを伝えたり相手の思いに気づいたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の話を聞き感じたことを言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの人と心を通わせ自分の言葉で伝える。
表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ うたったり身体を動かしたりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな表現を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いを素直に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工夫しイメージを豊かにして表現する。 	

- 【自然とのふれあい】
- 【地域との交流】
- 【未就園児との交流】
- 【お年寄りとの交流】
- 【幼・保育園との交流】

— 幼稚園の生活 —

- ① 自然の中への園外保育、社会見学などを通して豊かな感性を育てる
- ② 異年齢や様々な人との交流を交わして温かい心を育てる
- ③ 食を通して豊かな人間性と生きる力を育てる

- 【保護者との連携】
- 【教育機関との連携】
- 【特別支援専門機関との連携】
- 【小学校との交流、連携】
- 【中学校、高校、専門学校との交流】

学年別年間のねらい

2歳児クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して園生活を送る。 ・教師や友だちと一緒に遊ぶ。
年少組（3歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に慣れ、身の回りのことをしようとする。 ・教師や友だちとかかわり好きな遊びを楽しむ。
年中組（4歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなことに興味を持ちやってみようとする。 ・身近な人とかかわり遊びを楽しむ。
年長組（5歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えたり、友だちと力を出し合ったりしていろいろなことに挑戦しようとする。 ・さまざまなかかわりの中で、思いやりや、いたわりの心を持つ。

学年の5領域による内容の達成評価

【㉑：達成されている ㉒：ほぼ達成されている ㉓：あまり達成されていない ㉔：達成されていない】

	領域	内 容	評価	考 察
2歳 ひよこ	健康	園生活に慣れ安心して過ごす	A	入園当初は、不安で泣いたり、教師の側から離れられなかったりしたが、繰り返しの生活の中で自分の好きな遊びを見つけ、意欲的に遊ぶようになっていく。
	人間関係	身近な人と触れ合い遊ぶ	A	一人遊びが中心であったが、少しずつ周りの友だちや教師と触れ合いかわって遊べるようになった。身近な友だちの名前を呼び合いながら好きな遊びを楽しんでいる。
	環境	身近な環境の中で楽しく遊ぶ	A	室内や戸外で好きな遊びを見つけて喜んで遊んでいる。中でも、園庭にある固定遊具に挑戦し、のびのびと遊べるようになっていく。
	言葉	自分の思いを態度や言葉で伝える	B	言葉が増え、自分から積極的に思いを伝えようとする姿がみられる。中には、感情や思いを態度や行動で表現している姿も見られる。
	表現	うたったり身体を動かしたりして楽しむ	A	ピアノやCDに合わせて歌をうたったり、手遊びをしたりすることをとても楽しんでいる。また、楽器を鳴らしたり、体を使って表現したりすることも大好きである。
3歳 年少	健康	身の回りのことを行い、喜んで生活する	B	時間はかかるが、身の回りのことは自分でしようとする姿が見られる。園生活に慣れ、笑顔がたくさん見られ生活を楽しんでいる。
	人間関係	友だちと一緒に過ごす楽しさを知る	B	友だちの名前を覚え、誘い合って遊ぶ姿が見られるようになっていく。中には、遊びに関心はあるが自分から入れず、教師の援助が必要な姿もある。
	環境	身近な自然や環境に興味を持って遊ぶ	A	栽培活動を通して、自分たちで育てた野菜を収穫して食べる機会を多く持てた。園外保育では、自然物を收拾したり、はじめて見る動物と触れ合ったりして楽しめた。
	言葉	自分の思いを伝えたり相手の思いに気づいたりする	B	自分の思いを伝えられるようにはなっているが、まだ相手の気持ちを考えたり、思いに気づいたりするのは難しくトラブルになることもある。
	表現	いろいろな表現を楽しむ	A	みんなで歌をうたったり、踊ったりすることをとても楽しんでいる。自分なりのイメージや思いを表現できるようになった。
4歳 年中	健康	園生活を楽しみのびのびと生活をする	A	友だちと一緒に好きな遊びを見つけてのびのびと遊んでいる。積極的に戸外に出て、体を動かして遊ぶ姿がたくさん見られた。
	人間関係	親しみを持って身近な人とかかわる	B	いろいろな交流を通し優しさに触れることで、豊かな心の育ちが見られる。子ども同士の遊びの中で、些細なけんかがあるので相手の気持ちに気づけるよう導く。
	環境	自然や環境に関心を持ち遊びに取り入れる	A	四季折々に身近な自然に興味を持ち関心を深めることができた。野菜の栽培、地域の方の畑での収穫を通し、食への関心を広げることができた。
	言葉	人の話を聞き感じたことを言葉で伝える	B	言葉の習得には個人差があるが、感じたこと、考えたことを伝える経験を重ねてきたことで育ちつつある。
	表現	自分の思いを素直に表現する	B	良さや頑張りを認められることで、自信につながり自己発揮できるようになっている。中にはまだ表現できない子もいるので、友だちから良い刺激を受けて表現できるようにしていきたい。
5歳 年長	健康	生活に必要なことが身につく元気に過ごす	B	みんなで体を動かす遊びを楽しめた。基本的な生活習慣において、手洗いうがい、歯磨きの習慣にむらがある。
	人間関係	目的を持って互いに協力し合う	A	同じ目的に向かい、思いや考えを出し合い創り上げる事ができた。一人ひとり違いはあるが、互いを認め合い助け合う姿が見られた。
	環境	身近な事象に興味や関心を持ち考えたり工夫したりして遊ぶ	A	友だちのしていることに刺激を受けて、工夫して遊んでいる。身近な出来事や見たり、聞いたりしたことを遊びの中に取り入れようとしている。
	言葉	周りの人と心を通わせ自分の言葉で伝える	B	思いをどう表現したらよいのか戸惑う姿があったが、人前で発表する経験や機会を得ることにより自信を持ちつつある。
	表現	工夫しイメージを豊かにして表現をする	B	苦手なことも友だちの影響を受け、やってみようとする姿が見られた。得意なことを友だちに教え、イメージを共有し表現しようとする姿も見られるようになっていく。

総合評価

評 価	考 察
B	<p>各学年とも5領域の内容は、ほぼ達成されています。特に環境においてはどの学年も達成されており、子どもたちの内面の育ちとなるよう今後も一層工夫し、ふさわしい環境づくりに努めていきたいと思っております。</p> <p>言葉においては、自分の思いを伝えるということに年齢や個人差があります。しかし、日々の園生活や豊かな体験（感動体験）を通して、子どもたちと共に感じたり、気づいたり、発見したりできる保育をしていきたいと思っております。年少組の“相手の思いに気づく”という内容が年齢的に難しいので、表情や動作による思いの表現も感じ取れるような子どもたちとのかかわりを心がけ、その姿勢を手本として見せることが教師の役割りであるように感じます。</p> <p>一人ひとりの育ちや個性を大切に捉え家庭と連絡を取り合いながら保育を進め、職員間でも子どもに対する共通理解を深め、様々な視点から話し合い子どもたちの成長につなげる教育を推進していきたいと思っております。</p>